

令和5年度学校評価結果の考察

～結果の分析並びに今後の課題と対応策～

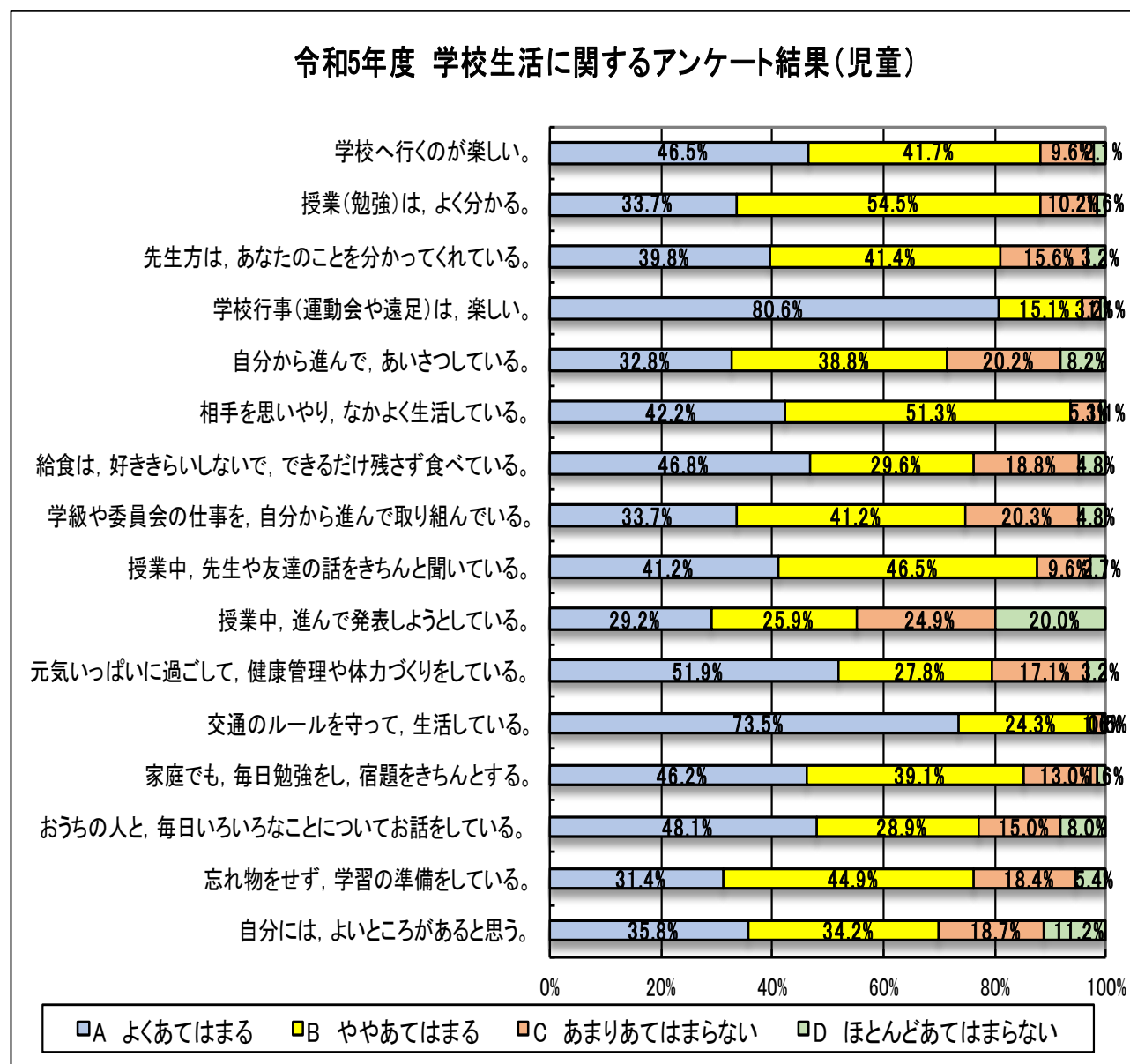
徳島市沖洲小学校

児童用、保護者用アンケートの結果について考察し、本校の課題を分析するとともに、来年度に向けての具体的な方策を考える。

1 児童アンケートから

児童アンケートは4段階（A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D ほとんどあてはまらない）で回答してもらっている。ここでは主に、A、Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C、Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【児童アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A, Bの割合(%)の和

観点1	学校へ行くのが楽しい。	(88.2)
観点2	授業(勉強)は、よく分かる。	(88.2)
観点3	先生方は、あなたのことを分かってくれている。	(81.2)
観点4	学校行事(運動会や遠足)は、楽しい。	(95.7)
観点6	相手を思いやり、なかよく生活している。	(93.6)
観点9	授業中、先生や友達の話をしっかり聞いている。	(87.7)
観点12	交通のルールを守って、生活している。	(97.8)
観点13	家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。	(85.3)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C, Dの割合(%)の和

観点5	自分から進んで、あいさつしている。	(28.4)
観点8	学級や委員会の仕事を、自分から進んで取り組んでいる。	(25.1)
観点10	授業中、進んで発表しようとしている。	(44.9)
観点16	自分には、よいところがあると思う。	(29.9)

(3) 考察

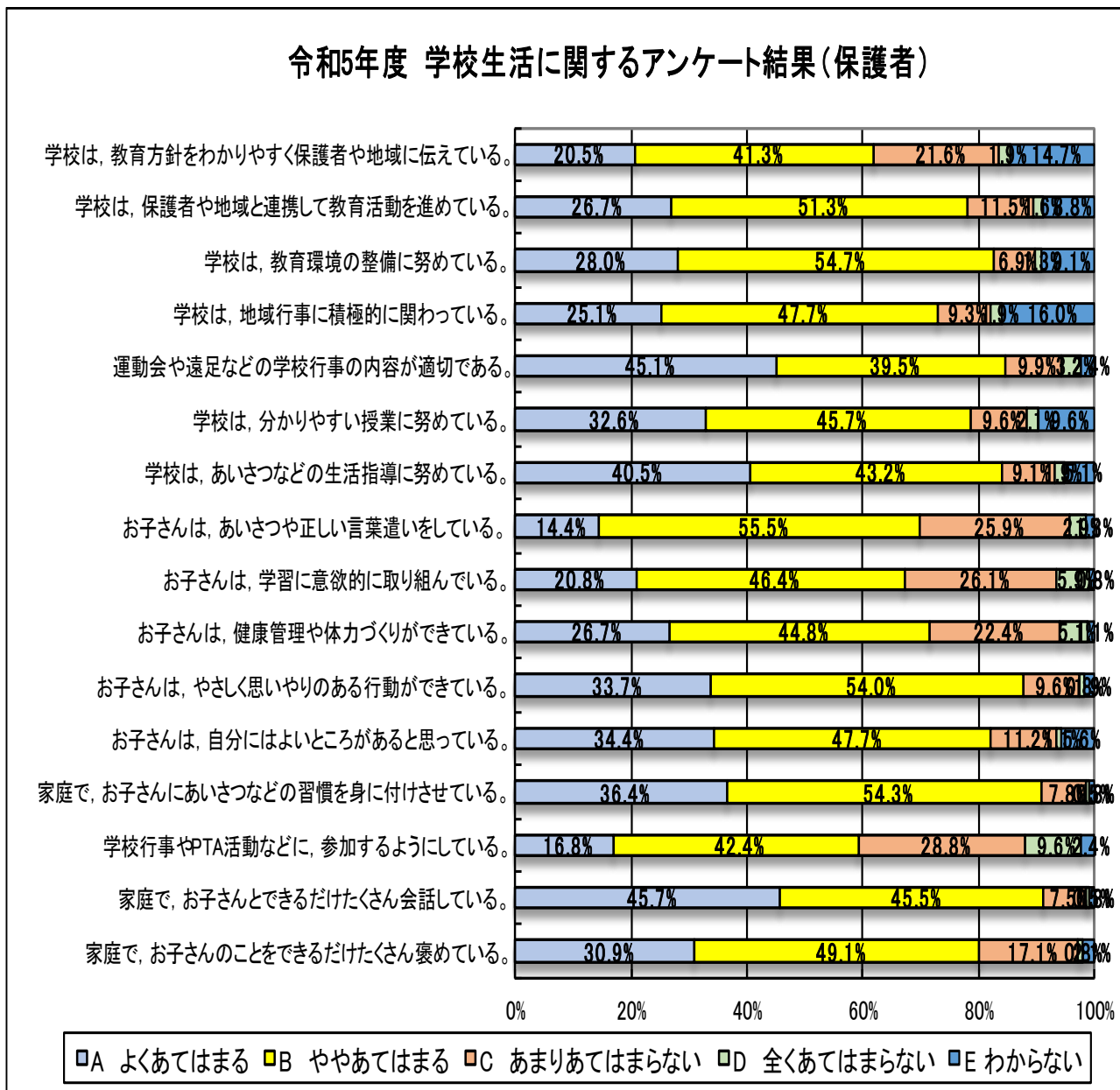
ほぼ達成と捉える項目は、8項目あった。今年度は、観点3【児童理解】の項目が昨年度よりも9.4%増えており、児童と教師との信頼関係をしっかりと築くことができている結果だと思われる。また、項目6【思いやり】の項目が高いことから子どもたちは、友だちとも良好な関係を保ちつつ、充実した学校生活を送っていることがうかがえる。

課題としてあげられている項目は、4項目あった。特に観点10の【学習意欲】については、C, Dの割合が昨年度よりも減少し改善している。しかしながら、44.9%と依然高い割合である。このことから、自分の意見や考えを安心して発表できるような教室づくりにより一層、力を入れていく必要がある。また、観点16【自尊感情】については、C・Dの割合が、昨年度よりも1.9%増えている。まずは教職員が、子どもを褒める・認める・励ます、子どもの可能性を広げるなど、子ども一人一人のよさを生かした指導方法を工夫するとともに、友だち同士で、学校で、家庭で、子ども自身が自分を価値ある存在として認められるような取組を進めていく必要がある。

2 保護者アンケートから

児童アンケートは4段階（A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない E わからない）で回答してもらっている。ここでは主に、A、Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C、Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【保護者アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点3	学校は、教育環境の整備に努めている。	(82.7)
観点5	運動会や遠足などの学校行事の内容が適切である。	(84.5)
観点7	学校は、あいさつなどの生活指導に努めている。	(84.0)
観点11	お子さんは、やさしく思いやりのある態度が見られる。	(87.7)

観点 12	お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。	(82.1)
観点 13	家庭で、お子さんにあいさつなどの習慣を身につけさせている。	(90.6)
観点 15	家庭で、お子さんとできるだけたくさん会話している。	(91.2)
観点 16	家庭で、お子さんのことをできるだけたくさん褒めている。	(80.0)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点 8	お子さんは、あいさつや正しい言葉遣いをしている。	(28.8)
観点 9	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。	(32.0)
観点 10	お子さんは、健康管理や体力づくりができています。	(27.5)
観点 14	学校行事やPTA活動などに、参加するようにしている。	(38.4)

(3) 考察

ほぼ達成と捉える項目は、8項目あった。「本校の教育について(観点1～5)」の内容項目では、昨年度よりも観点3【教育環境の整備】、観点7【あいさつなどの生活指導】の2点が増えている。今年度は、全学級が週替わりで「あいさつ運動」を実施した。このような取組により、あいさつを積極的にしようとする意識が高まってきたと考える。

「お子さんの様子について(観点8～12)」の内容項目では、観点11【思いやり】・観点12【自己肯定感】、「保護者自身のことについて観点(13～16)」の内容項目では、観点15【会話】・観点16【賞賛】の項目で、昨年度と同様に肯定的な評価が多かった。この結果から、子ども達の良いところを認めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている保護者が多いことがよくわかる。

課題と捉える項目については、昨年度に引き続き、観点14【PTA活動】の項目が38.4%と高い。今後は、行事も少しずつ増えてくると思われるので、PTA活動にもたくさんの方が参加してもらえそうな手立ても考えていかなければならない。

3. 課題と対策

これらのことから、今後の課題と対策を次のように考える。

(児童)

【課題①】自分自身で考え行動し、主体的に活動できるようにする。

[対策]

- ・ 日々の小さな成功体験を積み重ね、達成感につなげられるようにする。
- ・ 日常生活の中で、なるべくポジティブな言葉を使うよう心がける。
- ・ 周りの人の気持ちを考え、全体を見ようとする意識を持つようにする。

【課題②】積極的に授業に参加できるようにする。

[対策]

- ・ 自由に意見を言える場づくりに努める。
- ・ 子どもの発言を引き出す手立てを工夫する。
- ・ 具体的でわかりやすい発問・問いかけを行うようにする。

【課題③】自尊感情を高める。

[対策]

- ・ 子どもに自信をもたせたり、自分のよさに気付いたりする活動を意図的に取り入れる。
- ・ どの子にも活躍できる場面を設定する。
- ・ 一人ひとりのよさを認め合う場面を設定する。

(保護者)

【課題④】家庭学習の充実を図る。

[対策]

- ・ 保護者が課題に関わる場面（音読の確認等）を意図的に入れることで、保護者に学校の学習に関心を持ってもらったり、学習内容を知ってもらったりする。
- ・ 発達段階に応じた子どもへの具体的な関わり方を示した資料を家庭訪問や懇談会などで保護者に説明する。
- ・ 教師や保護者が、適切な場面で温かい言葉を掛けることで、子どもは達成感や分かる喜びなどを味わい、自分で学習しようとする意欲を高める。

【課題⑤】保護者が学校行事や PTA 活動などに、積極的に参加できるようにする。

[対策]

- ・ 学校行事などの見直しを図り、保護者が参加しやすい環境を整える。
- ・ 学級懇談会や研修会を実施することにより、保護者同士のつながりが生まれ、参加者同士の意見交換ができるようにする。

5 全体考察 ～今後に向けて～

学校評価アンケートの結果から、ほとんどの子ども達が充実した学校生活を過ごしていることがわかる。しかし、様々な教育活動に対して自主的・自発的に活動できていないと感じている子どもが多いことが大きな課題となっている。

今後は、自主性、自発性を高めるために、何でも言い合えるコミュニケーション環境を整えたり、失敗を受け止め、認め合える雰囲気を整えたりすることができるよう教職員全体で取り組んでいく必要がある。

また、新型コロナウイルスが5類に移行したことをきっかけに、行事などの見直しが必要となってくる。その中で、地域の人材を活用した体験的な活動やPTA活動が、有意義なものとなるように、地域や家庭との積極的・協力的な関係を築いていきたい。